

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

(山梨県 平成29年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
				計画時(平成25年)	1年後(平成26年)	2年後(平成27年)	3年後(平成28年)	目標値(平成28年)	達成率			計画時(平成25年)	1年後(平成26年)	2年後(平成27年)	3年後(平成28年)	目標値(平成28年)	達成率			交付金	都道府県費	市町村費	その他						
																												成果目標の具体的な実績①	成果目標の具体的な実績②
南アフリカ	巨摩野農業協同組合	野菜(トマト、きゅうり)	当該品目の10a当たりの収量増加	(トマト) 10a当たりの収量: 7.6t 面積: 20a (きゅうり) 10a当たりの収量: 11.2t 面積: 118a	-	(トマト) 10a当たりの収量: 8.9t	(トマト) 10a当たりの収量: 8.6t 面積: 13a	(トマト) 10a当たりの収量: 8.8t	136.1%	きゅうりについては、13.6t/10aと目標達成されたが、トマトは0.2t目標を下回った	野菜(トマト、きゅうり)	当該品目の10a当たりの販売金額増加 (きゅうり) 10a当たりの販売額: 3,443,225円	(トマト) 10a当たりの販売額: 1,779,917円	(トマト) 10a当たりの販売額: 1,752,196円	(トマト) 10a当たりの販売額: 2,108,773円	(トマト) 10a当たりの販売額: 2,960,957円	145.6%	トマト、きゅうりともに目標達成できた	低コスト耐熱性ハウス(7,412.4㎡、7棟)加温機一式	157,550,400	72,940,000		84,610,400		きゅうりについては、単位面積当たり収量及び販売額とも目標達成となり、トマトについては販売額は目標達成したものの単収はわずかに目標を下回った。	雪害からの復旧が順調に進み、全体としては目標を上回る成果を得ることができた。引き続き県内施設野菜産地の維持拡大につながる成果であると考える。			
中央市	中巨摩東部農業協同組合	野菜(トマト)	当該品目の10a当たりの収量増加	10a当たりの収量: 12.1t	-	10a当たりの収量: 8.6t	10a当たりの収量: 9.1t	10a当たりの収量: 14.0t	-157.9%	9月の暴雨天により着果不良や生育遅れが生じ、9.1t/10aと目標には届かなかった。	野菜(トマト)	当該品目の10a当たりの販売金額増加 3,712,315円	10a当たりの販売額: 3,712,315円	10a当たりの販売額: 2,566,803円	10a当たりの販売額: 3,097,151円	10a当たりの販売額: 4,295,240円	-105.5%	収量の減少に伴い、販売額も目標達成には至らなかった	低コスト耐熱性ハウス(16,153.3㎡、15棟)養液栽培システム、加温機一式	470,772,000	217,950,000		252,822,000		秋期の日照不足により初期着果量が減少し、目標達成できなかった。また、一部は場において「黄化葉巻病」も発生がみられ収量減につながった。	平成28年度は9月頃の日照不足により、全国的にも野菜の出荷量が大きく減少した年であった。今後、部会講習会等をさらに充実させ、病害防除の徹底、天候不順への早めの対応に努め目標達成を目指すよう指導を行っていく。			
北杜市	(株)ベジ・ワン北杜	野菜(パプリカ)	加工又は外食・中食向けの収量の増加	49%	-	0%	34%	74%	-60%	生鮮向け出荷を優先した結果、加工向け出荷割合が低下し、目標を達成できなかった。	野菜(パプリカ)	契約取引割合の増加 50%	50%	-	0%	93%	84%	126.5%	順調に契約取引ができており、当初の目標は達成された。	高度環境制御栽培施設 フェンローブクロップハウス(18,640.8㎡)、灌水が1室、選果室、養液栽培水装置	835,704,000	386,900,000		448,804,000		取引先との契約は順調であったが、天候不順と病害虫被害等により全体収量が想定より少なくなり、生食向け出荷量を確保したため加工向け出荷比率が下がってしまった。今後は、全体収量を確保することから加工向け出荷割合が低下していった。	実需者等との契約は目標以上に進んだが、病害虫の発生等により全体収量が想定より少なくなり、生食向け出荷量を確保したため加工向け出荷比率が下がってしまった。今後は、全体収量を確保することから加工向け出荷割合が低下していった。		

都道府県平均達成率	14%	総合所見	・中巨摩東部農協のトマトについては、天候不順の影響により目標達成することができなかったが、次年度以降異常気象等がなければ目標は達成できると思われる。 ・(株)ベジ・ワン北杜のパプリカについては、病害虫防除の徹底と出荷棟の高温対策を図ることにより、目標達成は可能であると考えられるため、北杜市や県指導機関等とも連携し適切な指導を行っていく。
-----------	-----	------	--

- (注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。
 2 要綱第3の4の(2)のアのただし書きの場合には、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。